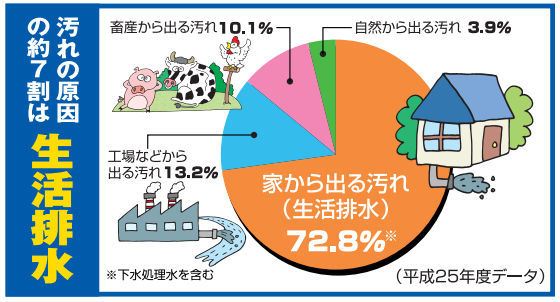
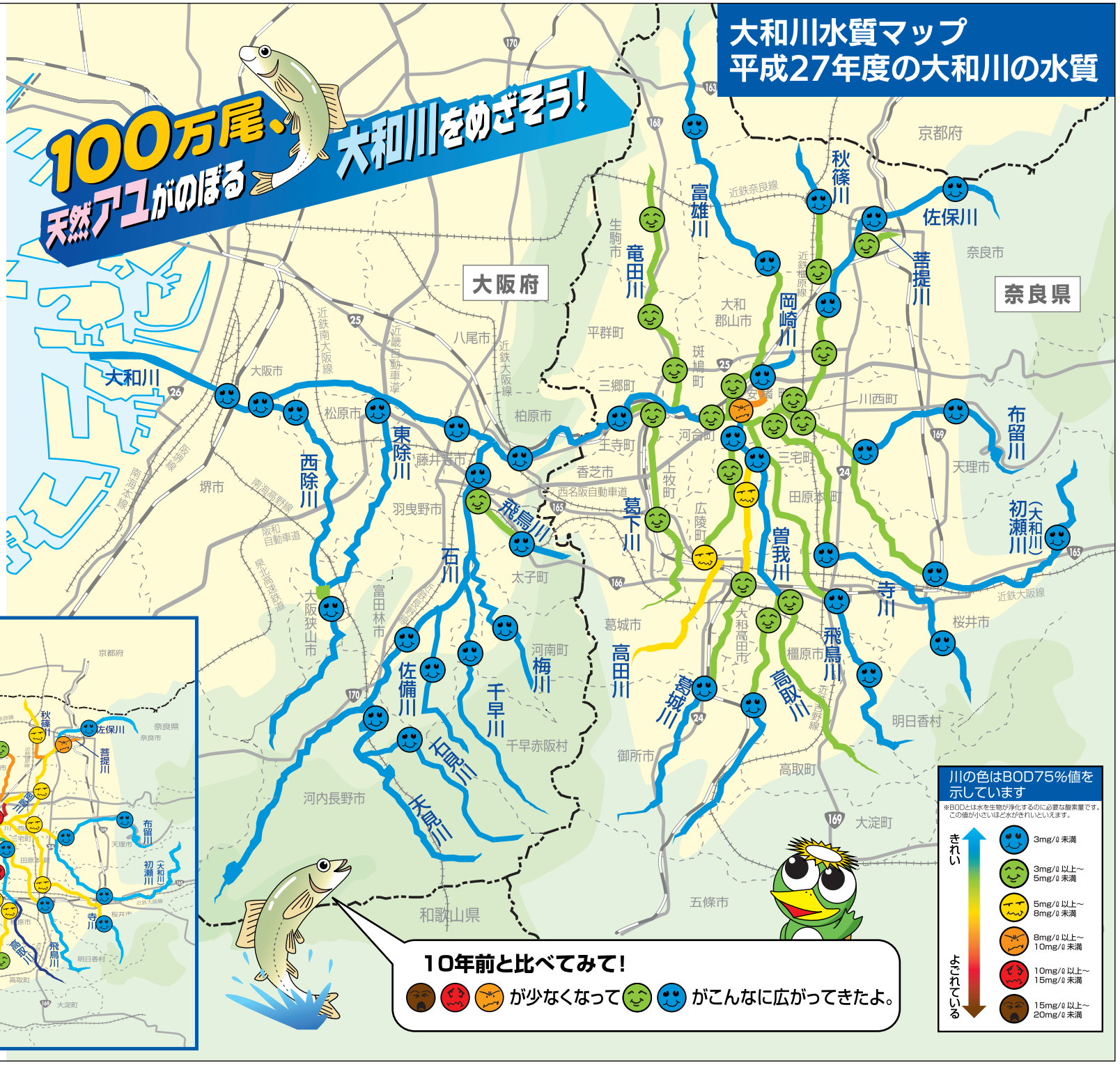
子どもたちが、いきいきと水しぶきをあげて遊べる川をめざして。

平成27年の大和川の水は、2.6mg/ℓ(BOD75%値)となり、8年連続で環境基準レベル(5.0mg/ℓ以下)を維持しています。

昭和45年には31.6mg/ℓ(BOD75%値)と劣悪な状況にあった大和川ですが、当時と比べ約1/12まで改善されています。しかし、流域全体では環境基準を上回る地点もみられ、水遊びのできる大和川になるにはまだ不十分です。

下流ではアユの産卵と遡上が確認されています。大和川をもっときれいにするために、できることからはじめましょう。